

新庄が好きな子を育てるために ～ふるさと学習の取組～

平成31年2月20日 学校教育課

1 新庄市まちづくり総合計画（第4次新庄市振興計画）との関連

(1) 基本目標『ふれあい、学びあい、心をつなぐまち』

政策「夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する」

施策「地域に根ざした学校教育の充実」

目標指数 新庄や自分の住んでいる地域が好きだと答えた児童生徒の割合

2020年度 学校評価 90%（現状 2017年度 84.4%）

地域の行事に参加していると答えた人の割合

2020年度 全国学力学習状況調査 83%（現状 2018年度78.6%）

(2) 施策

地域に根ざした小中一貫教育の推進

郷土に対する関心を高めるために地域との交流活動のなかで学ぶ取組の推進

2 学校教育との関連

(1) 教科・・・社会科（公民含む）で伝統文化や文化財を扱う。

(2) 道徳・・・内容項目に「伝統と文化の尊重」「郷土を愛する態度」など

指導例・・・町の身近な自然や文化などに直接触れる機会を増やす。

地域に積極的に関わろうとする態度を育てる。

(3) 総合的な学習の時間・・・探究課題の例として、地域や学校の特色に応じた課題（町づくり、伝統文化、地域経済、防災 など）、カリキュラムマネジメントの視点（探究課題について、総合、教科横断的な視点で組み立てる。）

3 各校の取組

(1) 取り組んでいる主な内容（教科、総合的な学習の時間等）

新庄小「地域の伝統・自然・文化」新庄まつり、東山焼、隠明寺凧、亀綾織、くじらもち、納豆汁、伝統工芸、指首野川

沼田小 重点「ふるさとのおよさ・ふるさとへの愛情・ふるさとのおよき未来」町探検、新庄まつり、米の収穫、指首野川

日新小「テーマ新庄の宝物（自慢・食・環境・人）」松田甚次郎等

北辰小「ふるさと学習けやきの里プラン」地域の自然や農産物栽培、地域の歴史・文化・施設、イバラトミヨ、指首野川、稲作体験、昔語り、寺、樹木

本合海小 民話、伝承野菜（畑なす）、伝統文化、歴史、八向楯、八向小唄、田植え踊り

升形小「ふるさと大発見」「わたしたちのふるさと」升形祭り、升形の土を使った東山焼
升形楯

新庄中「地域貢献ボランティア」「地域の魅力を発見」

明倫中「ふるさとプロジェクト（都市部との比較）」「地元企業とのコラボ授業」

日新中「地域貢献のふるさと学習」地域の施設で体験活動・清掃活動等

八向中 地域学習（文化 歴史 伝統 風土）八向楯、囃子、八向小唄、新庄まつり、名

産品、最上川、船場の歴史

萩野学園「萩野のふるさと自慢」 昔語り、民話、歴史、伝統文化、地域の人々、鹿子踊り、地元の企業・農業、「故郷を発信・地域への提言」

(2) その他 特徴的なこと

- ① 児童生徒は、新庄まつりを自慢と感じている。各校では、積極的に新庄まつりの学習を行っている。また、囃子や山車作り等がかかわることもある。
- ② 食の学習として、郷土料理を扱う。郷土食や食材について学ぶ給食週間を位置づける。(畑なす、最上かぶ、くるみ豆など)
- ③ 地域に関する資料収集については、市立図書館や地域コーディネーターの協力のもと授業支援をしてもらっている。
- ④ 伝統行事、環境学習等では、山大エリアキャンパスや、地域の団体、個人、また祖父母等、多くの方の協力をいただき、指導してもらったり交流をしたりしている。
- ⑤ 県外の学校と学習の交流をしたり、修学旅行で首都圏に地域のよさを発信したりしている学校がある。

4 留意していくこと

(1) 小中一貫教育の視点を一層重視する。

- ① 小中のつながりを意識した学習内容を計画する。(9年間のカリキュラム等)
- ② 統合になった学区にある地域のよさについて学習する。
- ③ 地域人材の活用について、今後地域コーディネーターが中心となって、小中学校と教育委員会が連携して進める。
- ④ 小小交流で学習発表会等を行う。

(2) 調べたことや成果については、次の年に引き継ぐようにし、毎年同じ活動が繰り返されるのではなく、学習した内容が積み上がるようにしていき、新たな課題を自分で考えさせる。

(3) 学んだことをわかりやすく伝えるなど、相手意識をもって発信する力を育てたい。主体的に活動し、課題を提示したり提言したりできる子を育てたい。

(4) 新庄には祭のほかにとたくさん自慢できることやよさがある。もっと新庄の魅力を知り紹介する機会をもちたい。

2019年度の予定 「ふるさと学習発表会」(仮称)

各校で調べた地域・学区のよさ等について発表会をする。(主催 新庄市PTA連絡協議会)

(5) 他課との連携をさらに進める。

例 自然、農業体験、地域との交流活動、伝統文化の人材育成

市民アンケート調査項目の結果を参考(伝統文化が受け継がれている、緑豊かな自然環境が保たれている、子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれているなど)

(6) 地域に関心が高い児童生徒の割合は全国や県より高い(全国学力・学習状況調査より)。

地域行事への参加もよく、ふるさとが好きな子は育っている。一方、正確なデータはないが、中学校では、地元で働きたいという希望はそれほど多くないという印象を持っている。今後も一人一人の夢が実現するよう、キャリア教育を推進しながら支援していきたい。